

インストール

yum でインストール

```
yum install postgresql
yum install postgresql-server
```

もし、新しい PostgreSQL が必要な場合は

<http://yum.postgresql.org/>

からインストール可能。

デーモン起動と初期設定

systemd

データベース初期化

```
sudo postgresql-setup initdb
```

環境によっては絶対パスを指定する必要がある。

```
sudo /usr/pgsql-9.4/bin/postgresql94-setup initdb
```

サービス有効化

```
sudo systemctl enable postgresql.service
```

systemd 以前

データベース初期化

```
/etc/init.d/postgresql initdb
```

サービス登録

```
chkconfig --level 2345 postgresql on
```

設定

設定ファイルの役割

ファイル名 (絶対パス)	概略
/var/lib/pgsql/data/postgresql.conf	PostgreSQL 環境設定ファイル
/var/lib/pgsql/data/pg_hba.conf	認証方法設定ファイル
/var/lib/pgsql/data/pg_ident.conf	ident 認証ファイル

外部からの接続を可能にする

初期設定では、自端末からのみ DB に接続できる。

外部から接続可能にするには、設定が必要。

postgresql.conf

postgresql8 以降は、tipip_socket ではなく listen_addresses を設定する

```
listen_addresses = 'localhost,192.168.0.1' # what IP interface(s) to listen on; <= 外部からの接続を受け付ける
listen_addresses = '*' # what IP interface(s) to listen on; <= すべての接続を受け付ける場合
```

のように設定する。

環境設定ファイル	項目 (デフォルト)	説明
TCP/IP 経由の接続許可	#tcpip_socket = false	tcpip_socket = true とすると外部からの TCP/IP 接続を有効にします。(デフォルトは無効)
TCP/IP 経由のポート番号	#port = 5432	TCP/IP 接続する場合のポート番号を設定します。(デフォルトは 5432)
同時接続の最大数	max_connections = 100	データベースサーバへの同時接続の最大数を決定します。(デフォルトは 100)
パスワード保存時の暗号化	#password_encryption = true	パスワードの暗号化を有効にします。(デフォルトは有効)

先頭に " # " がついてコメントになっている場合はデフォルトが適用されます。

パスワード認証を有効にする

postgresql は初期設定では、OS のユーザとマッピングされているユーザだけがログインできる。任意の postgresql ユーザでパスワード認証するには設定が必要。

パスワードを設定する

postgres ユーザにパスワードを設定する

```
ALTER USER postgres encrypted password '*****';
```

postgres ユーザ以外に管理者ユーザを設定する場合

```
sudo -u postgres createuser manager
sudo -u postgres psql
ALTER ROLE manager WITH SUPERUSER;
ALTER USER manager encrypted password '*****';
```

pg_hba.conf

```
local all all md5
host all all 127.0.0.1/32 md5
host all all 192.168.0.0/16 md5
```

項目	書式	解説
----	----	----

TYPE	local	サーバ自身の接続に対応します。
TYPE	host	外部 PC からの TCP/IP 接続に対応します。
DATABASE	データベース名	認証する任意のデータベースを指定します。
DATABASE	all	すべてのデータベースに対応することを指定します。
USER	Postgres ユーザー名	認証する任意の Postgres ユーザーを指定します。
USER	all	すべてのユーザーに対応することを指定します。
IP-ADDRESS	IP アドレス	外部接続を許可する IP アドレスを指定します。 TYPE が host の場合のみ適用されます。
IP-MASK	IP マスク	IP アドレスのマスク (適用範囲) を指定します。 TYPE が host の場合のみ適用されます。
METHOD	trust	無条件で接続許可する場合に指定します。
METHOD	md5	認証時に MD5 (暗号化) パスワードを要求する場合に指定します。
METHOD	crypt	認証時にパスワードを要求する場合に指定します。 この暗号化はバージョン 7.2 以前をサポートする場合に使用します。
METHOD	password	認証時にパスワードを要求する場合に指定します。 パスワード送信時に暗号化を行います。
METHOD	ident	ident 認証する場合に指定します。
METHOD	peer	peer 認証する場合に使用します。
OPTION	マップ名	ident 認証する任意のマップ名を指定します。
OPTION	sameuser	無条件で接続されます。

pg_ident.conf

認証方法設定ファイルで ident 認証を使い、OPTION 設定項目がマップ名(sameuser 以外)の場合、ident 認証ファイル内に書かれているマップ名とログインしている Linux ユーザー名(IDENT-USERNAME)に対応する PostgreSQL ユーザー名(PG-USERNAME)として接続できます。

設定ファイル名	設定の記述内容	解説
pg_hba.conf	local all all ident hogemap	マップ名 "hogemap" として ident 認証を指定。
pg_ident.conf	hogemap asakusa ueno	この記述内容の書式は・ MAPNAME hogemap・IDENT-USERNAME asakusa・PG-USERNAME ueno となります。Linux ユーザー "asakusa" でログイン している場合、postgres ユー ザー "ueno" としてデータベー スに接続されます。